



熊本支部報

(公社) 日本山岳会熊本支部

第59号

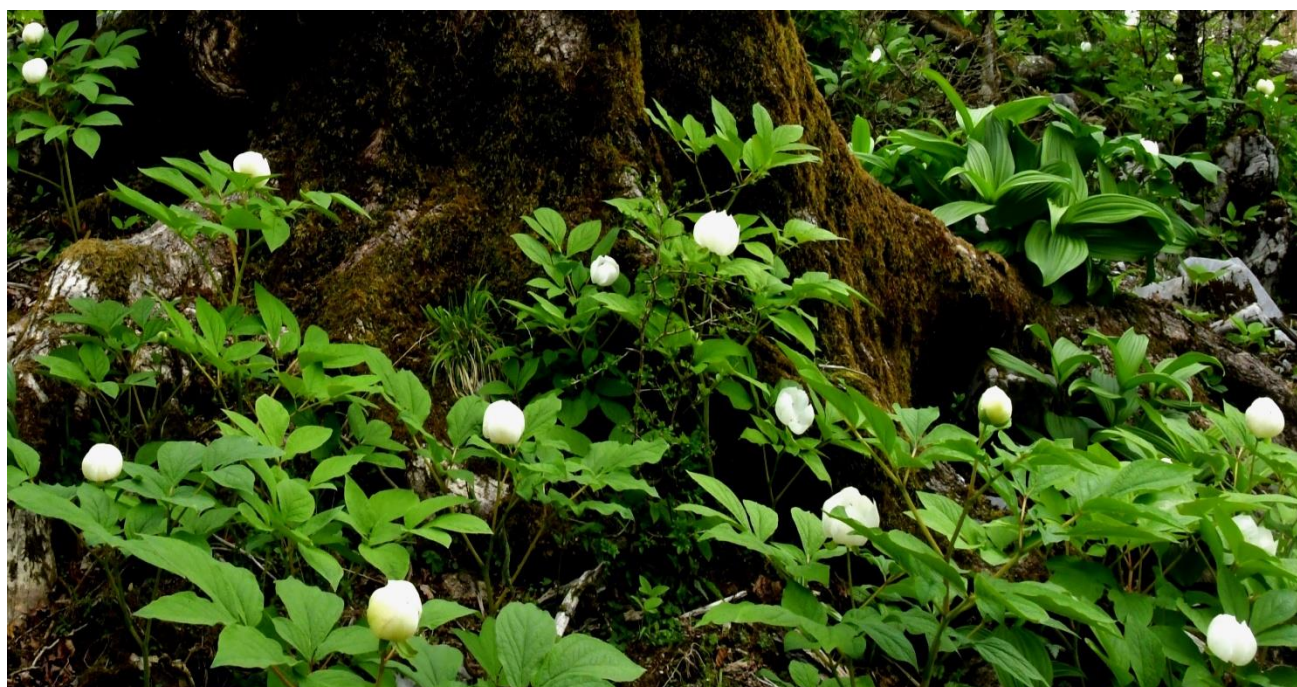
令和6年5月20日発行

編集・発行者 田北 芳博

(公社) 日本山岳会熊本支部事務局

熊本県玉名郡長洲町宮野 2488-2

城戸邦晴 方



ヤマシャクヤク (京丈山) 5月中旬

目次	ページ
1 「大津山&二城山」 低山クラブ	②
記録 大津山 森尾奈美 二城山 本田敦子	
2 久連子岳、岩宇土山、福寿草	⑤
3 宮崎との交流登山	⑨
4 ユキワリイチゲ・アズマイチゲを求めて 花を愛でる会	⑩
5 「飛岳&高杓島」 低山クラブ	⑫
記録 森美代子	
6 個人山行九州百名山 紫尾山・足立山・福智山	⑭
報告者 田北芳博	
7 令和6年度日本山岳会熊本支部総会議事録	⑱
山本 直	
8 会員の異動	⑳
山本 直	

1 里山低山クラブ活動報告「大津山 & 二城山」

実施日 令和6年1月28日(日)

参加者 12名 池田、川上、木下、城戸、武田、田北、戸上、中林、本田、前田、村上
森尾

その1 大津山 [歩行距離約 2.6 km、所要約 1 時間 30 分、累積標高差約 195m]
記録/森尾、写真/池田・戸上

7時前に家を出発、細かい雨が降っていた。7時40分に玉東町役場に到着。7時55分に戸上さんの車に便乗して出発。8時30分大津山公園に到着。

12名が揃ってから戸上さんから諸注意があり、8時55分に出発。すぐに108段の階段を上り、大津山神社で登山の無事を祈り参拝。いざ出発。

木の階段が延々と続き、結構疲れる。汗ばんできた頃、9時30分大津山(256m)山頂に到着。右に三池山、正面に小岱山を望む。素晴らしい景色に疲れも吹っ飛ぶ。

少しの休憩の後、記念写真を撮り、反時計回りに遊歩道を下山。

カカツガユ(和活ケ油)やトキワサンザシ(常磐山査子)の実を戸上さんに教えていただき、10時25分到大津山公園トイレ横広場に到着。

天気も回復して最高の山歩きとなった。



大津山神社参道を登る



登山前に大津山神社に参拝



登山途中のため池



大津山山頂



大津山登山コース



二城山登山コース

その2 二城山 [歩行距離約 5.2 km、所要約 3 時間、累積標高差約 297m]

記録/本田、写真/池田・戸上

朝から小雨が降ったが、午後から晴れ間が広がったので、本当によかった。

大津山登頂後、各自の車で移動し、南関第三小学校駐車場に到着、10 時 45 分に二城山目指して駐車場を出発する。

家の路地をしばらく歩くと、「金栗四三かけあし登校の道」と書かれた標識を発見する。この道はマラソンの父と呼ばれた金栗四三が登下校した歴史ある道。歴史的な名所に触れ、感慨深い。

その後、平坦な道をゆっくりした足取りで二城山登山口に向かう。登山口に着くと今度は

急坂の階段だ。息も絶え絶えにやっと 443 段の階段を上り終えた。

11 時 50 分に山頂に到着、山頂でランチを食べる。展望は良く、近くに三池山や小岱山を眺めることができた。ランチ後下山し、帰り道に創建 1300 年、南関町最古の萬里森（マデノモリ）神社に立ち寄る。神社内にたくさんの武者絵が掲げられていた。

13 時 50 分に南関第三小学校駐車場に着き、そのまま解散する。今日は由緒ある史跡をたどる里山ハイクで、とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



2 久連子岳、岩宇土山、福寿草

担当 中村寛

実施日 令和6年2月26日(月)

集合場所 佐俣の湯駐車場

7時20分発～8時40分登山口着

9時00分登山開始～11時20分久連子岳着

12時岩宇土山着～分岐まで10分

13時15分白萌平着(撮影30分)～14時40分登山口着

17時佐俣の湯着 解散

参加者 計8名

下線は車提供者の方

中林暉幸、城戸邦晴、坂本雄二、前田節子、本田敦子、松尾重勝、石井文雄、中村寛

「福寿草九州の山」と検索すると①久連子岳、岩宇土山②仰烏帽子山③黒岳(宮崎県諸塚村)の三つにヒットします。石灰岩の地に咲く黄色い可憐な花を見るために、九州各県のナンバーを駐車場では多く見かけます。今回は、①の久連子岳、岩宇土山に案内しました。当日は午前中雨の予報なので、翌日個人山行に変更して実施。それでも8名の参加になりました。

佐俣の湯駐車場 ・7時過ぎには全員集合、2台の車に分乗して登山口へ向かう。2～3キロ程手前の久連子古代の里でトイレ休憩、ここは今は営業してません。

岩宇土登山口 ・狭い駐車場には既に7台停まっていた。登山口からいきなり登りが続くので何時もきつく感じる。体を温めて登ろうと「ほな、ぼちぼち行きまひよか」の関西弁のラジオ体操を流したが、皆にはスルーされた。大分からの登山者も一緒に音楽に合わせて体操され、前日泊まった宿から頂いたという生シイタケを分けてもらいました。帰りに皆で分けてその日の夜はオーブンで焼き、ビールのつまみにしました。

久連子岳 ・久連子岳までは途中、角刈りの地藏さんに会う。安全を願う。ここから急斜面のトラバースが始まる。足を滑らせたらず数十m下まで落ちていく。ロープがあるのは最初だけ。後半は持ち込んだ20mのロープを使った。足場も良くなく以前滑落事故があり、人吉の病院に入院したと聞いた。斜面の後半には福寿草がいくつも見られた。久連子は岩峰です。ここから少し岩の上を歩くことになります。眺望がいいので時々振り向きながら登る。温度は2℃に目の前の上福根や奥の山には、霧氷が見える。歩いている時は良いが、少し休むと体が冷える。

岩宇土山

白崩平

- ・鹿よけネットに沿って登っていくと思わず見過ごしそうになる頂上に出る。その先には小さい風穴がある。今回は頂上近くで食事をとった。
- ・岩宇土から白崩平と上福根山の分岐まで 10 分程、ここからは植林された杉山を下って行く。暫くすると苔むした沢山の岩に出会う。まるでマリモの様に見える。その先にはネットで保護された福寿草のある白崩平に着く。数は激減している。まず株自体が少ない。福寿草は毒草で葉も茎も根も食べられない。バイケイソウと同じです。鹿よけネットは鹿が踏まないように設置してある。以前見た感動が得られない。それでも黄色い可憐な花はすぐに見つけることができる。暫くここでゆっくりと写真撮影タイムをとった。

岩宇土登山口

- ・帰りは崩壊した林道を何度か渡渉して登山口まで戻りました。崩壊した箇所が多く大きな岩もゴロゴロしている。道路の修復は恐らく無理と思います。
- * 群生した福寿草はありませんでしたが、綺麗な花を見ることができました。また鍾乳洞も喜んでもらえたと思います。しかし福寿草も鍾乳石もネットで高値で取引されています。情報開示には十分注意したいと思います。



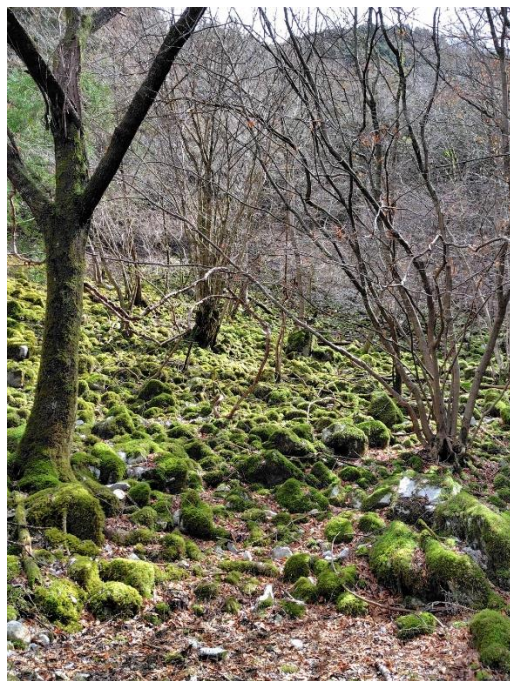
* 周回コースです。朝の登山口は 4°C 上福根山には、樹氷らしきものが見えた。



急斜面をトラバースしました。一番神経を使った所です。右は岩峰久連子岳です。切り立った断崖の上が頂上です。強風の際は危険で立っておられません。



鍾乳洞は、バレーコート程の広さです。天井から伸びる鍾乳石は1cm伸びるのに100年かかるそうです。なお下にあるものは石筍（せきじゅん）と呼ぶそうです。外から覗く皆さんの表情が面白い。



黄色い福寿草を見るとホッとします。白崩平の手前には、苔むした岩が丸くなっていた。



・左は久連子岳から続く岩場です。



・岩宇土山での記念撮影です。

3 宮崎支部との交流登山報告

日本山岳会 熊本支部担当 事務局 山本

○期日 2024年3月9日(土)～10日(日)

○場所 諸塚山

宿泊場所 諸塚村 六峰館

○参加費 8000円(宿泊費6000円+車分譲代2000円)

○参加者 6名

中林暉幸・三宅厚雄・中村 寛・坂本雄二・田北芳博・山本 直

○概要

3月9日

13時前に中村さん、中林さんの車に分乗して、諸塚村へ向かう。ナビが3時間を示していたが、実際は2時間半弱の15時10分頃着いた。早く着きすぎたので、近くの神社で時間をつぶし、16時半に、六峰館へ到着。受付、風呂の後、18時から交流会。諸塚村の藤崎村長も来館し挨拶の後、一緒に交流会に参加。三宅さんは20時頃到着。道がわからなくて苦労したようだ。交流会の中で、来年度熊本支部の担当で、3月1日～2日で阿蘇の野焼きを考えた交流会を検討することとなった。(3/9は宮崎支部の諸塚山開山祭を予定)

3月10日

朝、これ以上望めないくらいの快晴。7時に起き朝飯。8時過ぎに六峰館を出発して、飯干緑地公園広場の山開き会場へ向かう。広場は非常に広く、甘酒の振舞いやワインや豚汁、地元特産の販売等のテントが並び、非常に活況がある。弁当とペナントを受け取り、9時半頃から開会式。村長等の挨拶、神事の後、10:00にウッドカットして出発、諸塚山へ向かう。良く整備された登山道を登る。登りはかなりきついところもあるが、11時過ぎには山頂に到着。すぐに朝日新聞のヘリコプターが到着し、撮影しながら旋回していた。昼食の後、12時頃から下山開始。少し回り道をして、アケボノツツジの見所の場所を通り13時過ぎには登山口に着いた。

広場で解散し帰途についた



六峰館での宴会風景

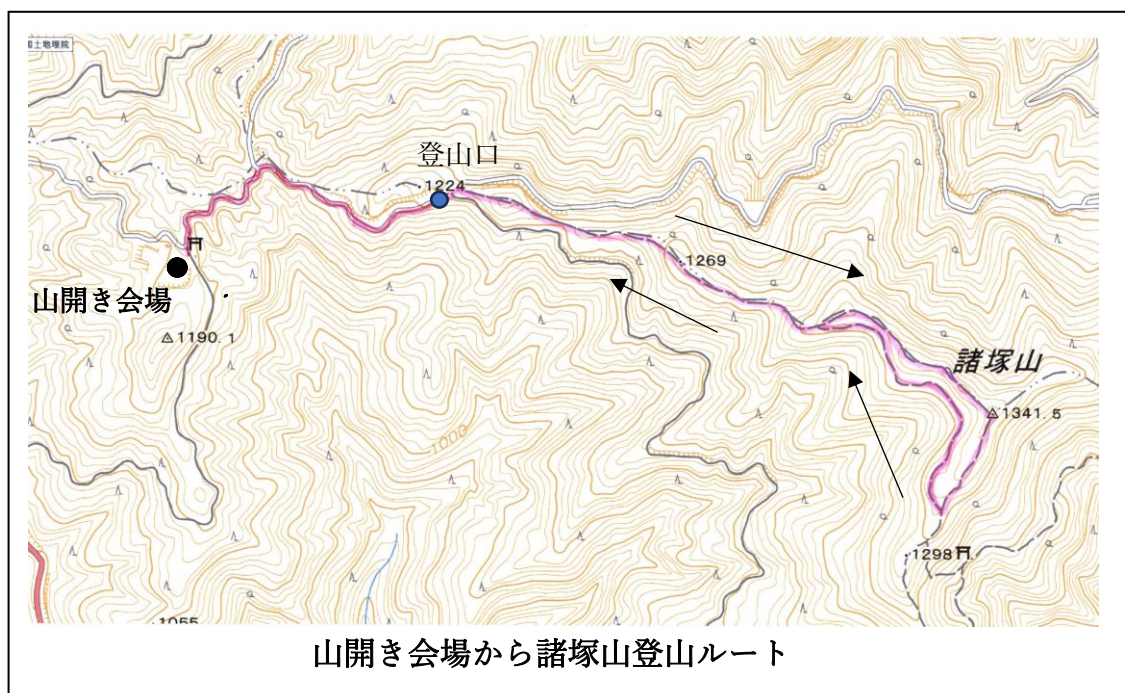




盛大な山開き会場



諸塚山登山口で宮崎支部と記念撮影



4 ユキワリイチゲ・アズマイチゲを求めて 花を愛でる会 城戸 邦晴

日 時：3月13日（水）

集 合：大津町生涯学習センター東側駐車場 8時30分

行 先：黒岳山麓、直入町靱山神社、清滝

参加者：中林暉幸、池田清志、石井文雄、田北芳博、廣永峻一、石坂征勝、松尾重勝、武田偉幸、前田節子、川上春枝、森美代子、城戸邦晴、（12人）

前日の雪が残っていた為、牧ノ戸から引き返し、ルートを変更して瀬の本高原から久住方面へ向かった。靱山神社へ行く途中にある清滝をまず見ることにした。知る人ぞ知る幻の滝である。

清滝の感動

細い道の奥まった断崖に囲まれた場所にその滝はあった。出会いの瞬間、感動の声わき起こった。清らかな滝が 30mほど上空から流れ落ちていた。目の前に浅い滝つぼが広がっていた。美しい滝だった。参加者のほとんどが初めてなのが不思議なくらいだった。皆を連れて来ようと思った。でもあまり知られたくない、とも思った。そっとしておきたい、そう思わせるものが漂っていた。この世にはまだまだ私たちの知らない美しい自然があるのではないだろうか。こういう景色を見るためにもっと長生きせねば、とも思った。夏にまた来たい、秋にも紅葉に包まれた滝をまた見たい、そう思った。

靱山神社周辺にて

ユキワリイチゲは春の妖精といわれる。淡紫色の花が神社参道・周囲に咲いていた。キンポウゲ科の植物で日光が当たらないと開花しない。この日も開いている花は少なかった。ここは地元の人が管理しており、各地からユキワリイチゲを見るために集まってきた。

アズマイチゲは稀少植物で、ここでもなかなか見つけられず、皆諦めて帰ろうとしていたところ、やっと見つかった。

その他の花々、ネコノメソウ、ツクシシオガマ、エイザンスミレ、カテンソウ、フクジュソウ、ムラサキケマン

黒岳にて

ユキワリイチゲを求めて原生林へ入ったが花はなく……以前の面影はない。ユキワリイチゲもアズマイチゲも稀少な植物で盗掘が多く、絶滅が危惧されています。したがって詳しい所在地は公表しません。ご理解願います。花を愛でる会はこのような場合には会員限定で観察会を行いますから、興味深い方は入会をご相談ください。

行程

8:30 集合～11:00 清滝～11:30 靱山神社～2:10 黒岳男池～3:40 瀬の本～5:00 大津着



ユキワリイチゲ



アズマイチゲ



清滝をバックに

5 「飛岳 & 高杵島」 低山クラブ 担当 戸上貴雄 記録 森 美代子

実施日 令和6年4月7日(日)

上天草にある三低山(飛岳・柴尾山・高杵島)を連山目標とし、11名で車3台に分乗し向かいます。

朝から曇り空で、予報では40%の雨となっていた。道々近づく山は、形の良い山だが急登ではと想像していた。その山が飛岳(228.6m)とのこと。

天草の玄関口に聳える天草五橋の1号橋(天文橋)を渡ってすぐの駐車場に車を置き、飛岳へ向かう。国道266号線の急カーブの車道を横断して山に取付く。

直ぐから木の根や蔓などのツルに足を取られるため進みが遅い。前日までの雨で土が湿って滑りやすい。道もまだ確定されていないのか、踏み跡を辿りながらリーダーの後に続く。

山頂では展望は無し。降りの途中に少し開けた岩場から有明海と天草の島々が見渡せた。青天ならば素晴らしい青い海が見られるのであろう。海と山の景色が同時に楽しめる、そんな日にもう一度来たいものである。



飛岳中腹展望岩にて

岩場からの下りも、道なき道を木をかき分けながら下山する。谷間に生い茂るノシランの大きさと数の多さは見事である。沢に着き、R443の暗い暗渠を抜けて駐車場まで戻る。



干潮時に砂州を渡る

次の目標である高杣島(138.2m)へ向う。途中雨が強くなったため、樋合海水浴場(パールサンビーチ)での昼食場所を変更する。高杣島へ渡るためには、大潮の引き潮の時間帯に合わせる必要があり、調整しながら昼食とする。

潮が引いて海を渡り、高杣島へと砂浜を歩く。鳥居を抜けると雨に濡れた石作りの階段は、滑り易く気の抜けない登りとなった。山頂の三角点に着くと石作りのお堂があり、その周囲は薄暗く周

りに赤い椿の花が数輪咲いていた。

早々に同じ道を下り、満ちる前の海の道を渡った。夏場になれば賑わうであろう美しい砂浜と海の音にしばし時を忘れる。

予定では柴尾山(225.7m)にも登る予定だったが、雨のため見送りとなった。低山とはいえ、飛岳は急傾斜である上に道も確定されておらず、木々や蔓の絡まる様はワイルドであったが、楽しく登山させてもらった。もう一度来たい山である。

7:40 南区役所から分乗移動 ～ 8:36 飛岳登山口出発 ～ 9:37 飛岳山頂 ～ 10:05 展望岩 ～ 10:54 道に出る ～ 11:30 駐車場着〔昼食・パールサンビーチへ移動〕 12:43 砂州を渡る ～ 13:28 高杣島山頂 ～ 14:05 ビーチへ戻る〔帰熊・南区役所にて解散〕

〔参加者〕池田清志、石坂征勝、川上春枝、志水由紀、武田偉幸、戸上貴雄、中林暉幸、本田敦子、前田節子、三宅厚雄、森美代子



6 個人山行 九州百名山シリーズ登山

報告者 田北 芳博

昨年より九州百名山リストで 70 山～80 山の登頂者を中心に、日帰りで行ける近場はほとんど登っている者が多く、1泊を基本に九州の熊本県外の山を登ろうと、池田さん・戸上さんを中心に実施しております。私も参加の常連で、計画もせよと言われていますが、最近登山したその一部を報告したいと思います。

3月18日(月)

紫尾山(九州百名山) 1067m

鹿児島県出水地方の山地(紫尾山地)

参加者 7名 池田清志(車)・戸上貴雄(車)・中林暉幸

田北芳博・石坂征勝・池田のり子・本田敦子

道の駅「竜北」7時集合出発

行動：駐車場 9:35→9:55 登山口→千尋の滝→10:50 尾根に出る→11:28 車道に出る→11:50 再び車道→12:00 トイレがある駐車場→12:10 紫尾山山頂(昼食)12:50→13:45 左折点(標高 615m)→14:08 登山口→14:20 駐車場

道の駅竜北を7時に出発、途中水俣市内のヒライでトイレ・昼食購入。登山口近くのふれあいの森駐車場に9時15分に到着した。

駐車場から林道終点まで20分ほど歩き登山道に入る。しばらく歩くと千尋の滝がある。千尋の滝からは夏場はやまひるがいるという急登を尾根出合まで登る。そこから先は少し緩やかな登りが続く。林道出合を過ぎ、しばらく歩くと上宮神社である。上宮神社から先は20分ほどの舗装道路歩きとなり電波塔が林立する紫尾山頂である。

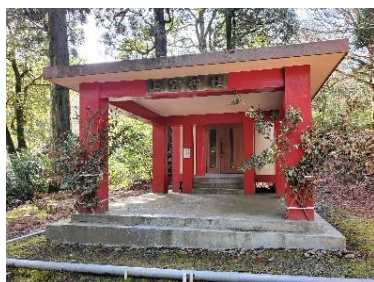
山頂で昼食の後、東尾根コースを下山した。駐車場に14時20分に下山、道の駅竜北に16時50分無事帰着した。



登山口手前駐車場と桜



千尋の滝



上宮神社



紫尾山頂



紫尾山頂集合写真



紫尾山登山ルート

個人山行・九州百名山シリーズ『福智山・足立山』2024.04.01～02 参加 6 名

4月1日 福知山（九州 100 名山）900. 6m

鷹取山（633m）

参加者 6 名 池田清志・戸上貴雄（車）・中林暉幸・田北芳博（車）・池田のり子・森美代子

宿泊 ホテル AZ 北九州小倉店

県運動公園駐車場 6：50 集合 7:00 出発→

9:45 福岡県福智町上野（無料駐車場）

10:12→10:20 上野登山口→（白糸の滝コース）

11:15 八丁・おおつか林道分岐→12:25 八丁峠→

12:45 福智山山頂(昼食)13:20→13:55 上野越え→

14:14 鷹取山 14:30→14:40 上野越→15:22 虎の尾桜 15:35→15:54 上野登山口→16:02 登山口（無料駐車場）16:23→17:05 北九州市小倉北区『AZ ホテル北九州小倉店』

県運動公園に 6 時 50 分集合、2 台の車に分乗し出発、基山パーキングで休憩、上野登山口の駐車場（町営無料）に到着。登山口付近は上野焼きで有名である。登山口からは登りは白糸のコースを山頂まで登り、左回りで登山開始し、下山に鷹取山・虎尾桜を見ることとした。

登りはしばらく沢沿いを登り、白糸の滝に出会う。そこからはしばらく急登が続いた。八丁までは登り一辺倒である。八丁は視界 360 度、素晴らしい景色である。そこからは山頂も見晴らしよく、あと一息の登りである。

山頂は特に見晴らしが素晴らしい。福岡県・大分県の山々が見渡せる。下山は鷹取山に立ち寄る。ここも 360 度の眺望である。城跡の石垣が残り頂上は黄色い水仙が満開であった。



白糸の滝を写す熱心な登山者

また、下山途中に虎尾桜（樹齢600年）が満開とのことで立ち寄った。

都市高速を利用してかねて予約のホテルAZに5時に到着。チェックイン、各人入浴の後7時からホテル内レストラン「志高」で夕食・歓談を行った。



見晴らしよい八丁にて 後方は福智山



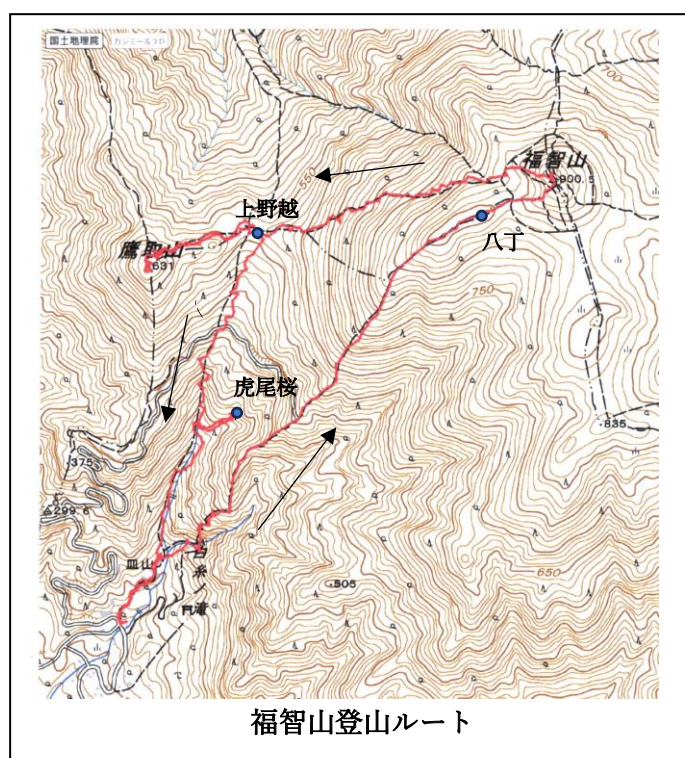
福智山山頂



鷹取山山頂



下山途中で虎尾桜に立ち寄る



福智山登山ルート

4月2日 足立山（九州100名山
597.8m 砲台山（442m）妙見山
（519m）小文字山（366m）7:30
ホテル発→8:08 妙見神社 8:40→
9:45 砲台山 9:50→10:10 小文字山
分岐→10:25 足立山 10:50→11:00
分岐→12:05 小文字山 12:12→
12:30 車道→12:55 下の車道→
13:10 妙見神社 13:35→16:35 県運
動公園駐車場



小文字山山頂 背景は小倉市街

登山口の妙見神社に8時10分着。
桜の名所のように、桜が満開であった。和
気清麻呂像の前より足立山の登山道が始ま
る。当初はやや急坂の登りである。1時間あ
まりで砲台山に着く。特に眺望はなく多少
の砲台跡の構造物があった様子が覗える程
度である。東に進み40分程で足立山山頂に
着く。東・北方面の眺めがよい。山頂で地
元の登山者グループと遭遇する。我々より
高齢に見えるが足立山にはよく登っている
ベテラングループである。

左回り周回で、妙見山につく。山頂には
神社がある。気持ちのいい尾根道を小文字
山まで進む。12時過ぎて少し腹が減ってき
たが、下山後食事の計画であったので昼食
の用意無く、妙見神社まで、急坂を下り道
路を歩く。1時過ぎ妙見神社駐車場着、梅ヶ
枝餅が売っており、花見客も多く売れ行き
がいい。帰路高速道路に入り、古賀サービ
スエリアに立ち寄った。遅い昼食であった
が名物という一欄ラーメンを食べた。ラー
メンにしては細かい注文に感心した。



足立山登山ルート



足立山山頂



砲台山山頂

7 令和6年度日本山岳会熊本支部総会議事録

日時 令和6年4月21日(日) 9時30分～11時30分

場所 熊本県婦人会館 3F 大会議室

1.開会

本会は、日本山岳会熊本支部規約第11条に基づき、支部会員数30名に対し、出席者16名・委任状9名・合計25名の出席をもって、適正に成立した。

2. 議長就任

議長に土井支部長が就任した。議事録署名人も兼ねることとした。

審議に入る前に、本部の動向（3月に急遽連絡あり6月28日の理事会で決定見込み）について支部長から報告した。主な内容は次の通り。

入会金を2万円から1万円へ減額する。ただし年会費は値上げ方向。

準会員の期間は1年とする。

入会、退会手続きのWEB化。会報「山」の電子化。

東京支部新規開設。晚餐会は開催するが展示会等は開催しない。 等

3. 議案審議

前2の支部長報告を踏まえて審議に移る。

第1号議案

令和5年度事業報告

事務局から報告を行い、一部字句の訂正をして承認された。

第2号議案

令和5年度収支決算報告

事務局から、一部表現や会員数等に間違いがあったため、(金額の間違いはない。)決算報告について文書差し替えを行い説明した。

以上の後、監査担当から収支決算が適正であった旨報告があり、原案のとおり承認された。

第3号議案

令和6年度事業計画

事務局から説明を行い、未定としていた「夏の例会を渡神山」「岩登りを比叡山」「ファーストエイド講習会を四季の里」で実施の予定の旨を申し上げ、誤記等の訂正をして承認された。

第4号議案

令和6年度収支予算

事務局から差し替え文書に基づき表示の間違い等を説明し、原案の通り承認された。

なお、入会奨励金については、本部動向から執行を停止した場合、執行せず翌期繰り越すこととした。

第5号議案

熊本支部規約改正

事務局から、熊本支部規約改正案について説明し承認された。

なお、会員、会友の参加費の扱いについては役員会にてまた議論する旨報告した。

第6号議案

役員改選について

事務局から、役員期間満了に基づく役員改選について説明し承認された。

4.閉会

以上の通り全ての議事が終了し、本総会は閉会した。

本総会の議事の結果を証するため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人は署名捺印する。

令和6年4月21日

議長 議事録署名人



支部総会参加者集合写真

8 会員の異動

会友から準会員へ 森尾奈美

会員退会 岩田春香

会友退会 植木隆俊 植木啓子 村上廣美 馬場昌敏
井上恵美子

編集後記

社会の活動も再び活発なものになり、登山活動も思うように動けるようになって参りました。支部総会も終了し、新年度がスタートいたしました。支部総会議事録を今号に掲載しましたが土井支部長、城戸事務局の挨拶は次号に掲載します。

今回は私も常連で参加しています九州百名山登山企画（個人山行）について掲載いたしました。個人の登山報告なども積極的に掲載したいと思っております。また校正を城戸さん、池田さん、戸上さんにお世話になりました。

なお前号から費用も安く、印刷の手間などもあり A4 用紙左閉じに致しました。ご了承ください。なお、後日 PDF 版を作成します。よい支部報になるよう努力して参ります。宜しくお願いいたします。

田北 芳博 E メール yt19-57@tune.ocn.ne.jp ☎ 田北 09087611471